

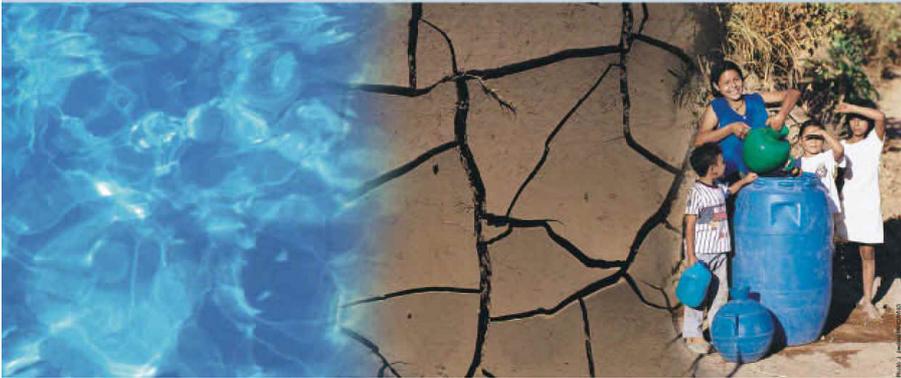


「予防」「軽減」「備え」といったような、災害への脆弱性やリスクの評価、様々なハザードに対して有効で、統合された、包括的な取り組みは、21世紀におけるより安全な世界を構築するための重要な課題である。

持続可能な開発に関する世界サミット
ヨハネスブルグ、2002年9月5日

Living with Risk

towards effective disaster reduction



Living with Risk - 効果的な防災を目指して

日時: 3月19日(水) 15:45-18:30

場所: 宝ヶ池プリンスホテル 「末広」の間

主催: 国連国際防災戦略(ISDR)事務局(Geneva)
アジア防災センター(Kobe)

協力: アジア開発銀行(ADB)による
第3回世界水フォーラム・セッション「水と貧困」の一部として開催

- 「防災と水問題の関連を探る」
- 「持続可能な開発に関する世界サミット('02年9月ヨハネスブルグサミット)のフォローアップ」
- 「水害・干ばつに対する脆弱性とリスクの削減を水管理政策と水管理手法に取り入れる」

基調講演:

「持続可能な開発の中での防災の目的と関連を探る」
Mr. Manuel Dengo --- 国連経済社会局(UN/DESA)水担当部長

「防災における脆弱性の社会的/経済的/環境的要因への取り組み」

Ms. Madeleen Helmer --- 国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC)・気候と災害対応準備センター(オランダ)

パネルディスカッション

このセッションでは、持続可能な開発、ジェンダー、生活、リスク管理などの様々な分野で活躍する専門家から幅広く意見を集める。

パネリスト

- ・ 三輪 準二氏---国土交通省 (MLIT)
- ・ 小川 雄二郎氏---前アジア防災センター所長 (ADRC)
- ・ Dr. Jerry Velasquez---国連大学 (UNU)
- ・ Mr. LeHuu Ti---国連アジア太平洋経済社会委員会 (ESCAP)
- ・ Mr. Henk van Schaik---水と気候との対話 (DWC)
- ・ Dr. Rajib Shaw---国連地域開発センター (UNCRD)
- ・ Ms. Mandira Shrestha---国際総合山岳開発センター (ICIMOD)
- ・ Mr. Brett Orlando---国際自然保護連合 (IUCN)

情報交換

セッション参加者には、自身の経験や情報を共有し、幅広く防災に関する資料を収集する機会が与えられる。すでに用意されている防災や水に関するバックグラウンドペーパーは、このセッションでの協議や議論の結果をもとに更に更新されていきます。

お問い合わせ先
アジア防災センター

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 IHDビル3F
Tel: 078-230-0346 Fax: 078-230-0347
E-mail: rep@adrc.asia

ISDR事務局は、国際淡水年のテーマに合わせ、2003年世界防災キャンペーンを行い、このセッションはその一環として開催されます。このキャンペーンでは水災害に関連した多くの問題点を見直し、2003年10月8日の国際防災の日に向けて活動していきます。その狙いは、国民の意識を高め、自然ハザードによる負の影響からコミュニティのリスクや脆弱性を軽減するための方策に参画を促すためとなっています。

国連ISDR事務局では、2003年世界防災キャンペーンのインフォメーションキットに幅広い情報を取り入れるため、皆様に研究や成功例、個人的な経験やその他の情報を提供していただきたいと思っています。2003年世界防災キャンペーンやキットに関する詳細につきましては、下記までご連絡ください。

Ms. Nicole Rencoret
ISDR Secretariat

Palais des Nations, 8-14 Avenue de la Paix
CH-1211 Geneva 10, Switzerland
Tel: 41 22 917 2785 Fax: 41 22 917 0563
E-mail: rencoret@un.org 又は isdr@un.org
Website: www.unisdr.org